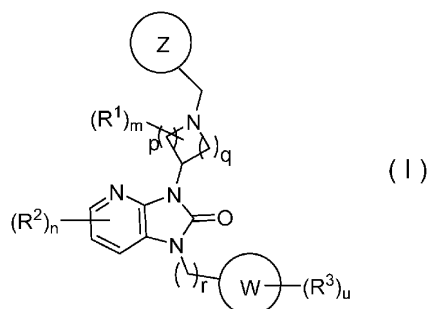


## 請求の範囲

[請求項1] 式(1)で表される化合物：

[化1]

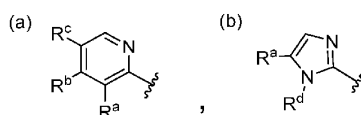


[式中、

環Wは、C<sub>6-10</sub>アリール、5若しくは6員環ヘテロアリール、9若しくは10員環ヘテロアリール、C<sub>3-8</sub>シクロアルキル、又は3～8員環ヘテロシクロアルキルであり；

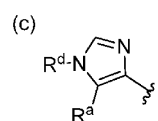
環Zは、以下の(a)～(c)からなる群から選択される基：

[化2]



及び

[化3]



(式中、

R<sup>a</sup>、R<sup>b</sup>及びR<sup>c</sup>は、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、C<sub>1-6</sub>アルキル、シアノ、ヒドロキシ、又はカルボキシであり；

R<sup>d</sup>は、水素原子、又はC<sub>1-6</sub>アルキルである）；

R<sup>1</sup>は、水素原子、ハロゲン原子、C<sub>1-6</sub>アルキル、シアノ、ヒドロキシ

、又はカルボキシであり（ $m$ が2又は3である場合、2以上の $R^1$ は互いに異なっているもよい）；

$R^2$ は、水素原子、ハロゲン原子、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$ アルコキシ、ヒドロキシ、 $-CO_2R^4$ 、又は $-CONR^5R^{5'}$ であり（ $n$ が2又は3である場合、2以上の $R^2$ は互いに異なっているもよい）；

$R^4$ は、水素原子、又は $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^5$ 及び $R^{5'}$ は、それぞれ独立して、水素原子、 $C_{1-6}$ アルキル、カルボキシ $C_{1-6}$ アルキル、ヒドロキシ $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{3-8}$ シクロアルキル、又は3～8員環ヘテロシクロアルキルであり；

$R^3$ は、水素原子、ハロゲン原子、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$ アルコキシ、ハロ $C_{1-6}$ アルコキシ、 $C_{2-6}$ アルケニル、 $C_{2-6}$ アルキニル、 $C_{1-6}$ アルキルスルファニル、 $C_{1-6}$ アルキルスルフィニル、 $C_{1-6}$ アルキルスルホニル、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、 $-NR^6R^{6'}$ 、 $-CO_2R^7$ 、 $-CONR^8R^8'$ 、又は以下の基Aであり（ $u$ が2又は3である場合、2以上の $R^3$ は互いに異なっているもよい）；

$R^6$ 及び $R^{6'}$ は、それぞれ独立して、水素原子、又は $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^7$ は、水素原子、又は $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^8$ 及び $R^{8'}$ は、それぞれ独立して、水素原子、 $C_{1-6}$ アルキル、カルボキシ $C_{1-6}$ アルキル、ヒドロキシ $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{3-8}$ シクロアルキル、又は3～8員環ヘテロシクロアルキルであり；

基Aは、以下の(a)～(h)からなる群から選択される基：

(a)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された $C_{6-10}$ アリール、

(b)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された5又は6員環ヘテロアリール、

(c)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された $C_{6-10}$ アリール $C_{1-6}$ アルキル、

(d)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された $C_{6-10}$ アリールオキシ、

(e)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された5又は6員環ヘテロアリール $C_{1-6}$ アルキル、

(f)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された5又は6員環ヘテロアリールオキシ、

(g)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された $C_{3-8}$ シクロアルキル、及び

(h)非置換又は置換基群Bから選択される1から3個の基で置換された3～8員環ヘテロシクロアルキル；

置換基群Bは、ハロゲン原子、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$ アルコキシ、ハロ $C_{1-6}$ アルコキシ、ヒドロキシ、シアノ、 $-NR^9R^{9'}$ 、 $-NR^{9'}SO_2R^{10}$ 、 $-CO_2R^{10}$ 、及び $-CONR^{11}R^{11'}$  からなる群であり；

$R^9$ 及び $R^{9'}$  は、それぞれ独立して、水素原子、又は $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^{10}$ は、水素原子、又は $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^{11}$ 及び $R^{11'}$  は、それぞれ独立して、水素原子、 $C_{1-6}$ アルキル、カルボキシ $C_{1-6}$ アルキル、ヒドロキシ $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{3-8}$ シクロアルキル、又は3～8員環ヘテロシクロアルキルであり；

m、n及びuは、それぞれ独立して、1から3の整数であり；

p及びqは、それぞれ独立して、1又は2であり；

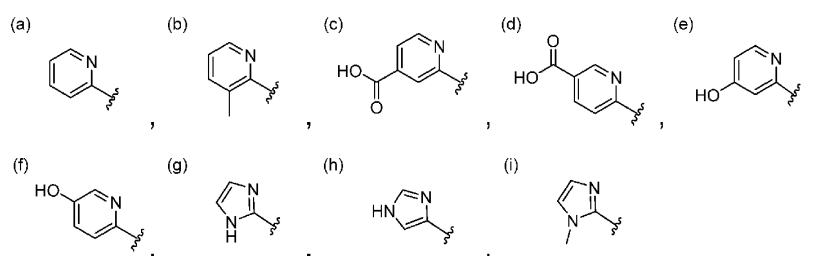
rは、0から6の整数である]

又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項2]

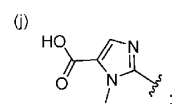
環Zが、以下の(a)～(j)からなる群から選択される基である請求項1に記載の化合物：

## [化4]



及び

## [化5]



又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項3] 環Wが、フェニル、又は5若しくは6員環ヘテロアリールである請求項2に記載の化合物又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項4]  $r$ が0である請求項3に記載の化合物又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項5]  $p$ が2であって、かつ $q$ が1である請求項4に記載の化合物又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項6]  $R^1$ が、水素原子、又はハロゲン原子である請求項5に記載の化合物又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項7] 請求項6に記載の化合物であって：

$R^2$ が、水素原子、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$ アルコキシ、カルボキシ、又は $-CONR^5R^{5'}$ であり；

$R^5$ 及び $R^{5'}$ は、それぞれ独立して、水素原子、カルボキシ $C_{1-6}$ アルキル、又は3～8員環ヘテロシクロアルキルである化合物；

又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項8] 請求項7に記載の化合物であって：

$R^3$ が、水素原子、ハロゲン原子、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロ $C_{1-6}$ アルキル、 $C_{1-6}$

アルコキシ、ハロC<sub>1-6</sub>アルコキシ、C<sub>2-6</sub>アルケニル、C<sub>1-6</sub>アルキルスルファニル、C<sub>1-6</sub>アルキルスルホニル、ヒドロキシ、シアノ、-CO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、-CONR<sup>8</sup>R<sup>8'</sup>、又は基Aであり；

R<sup>7</sup>及びuが、請求項1と同じ意味であり；

R<sup>8</sup>及びR<sup>8'</sup>が、それぞれ独立して、水素原子、又はカルボキシC<sub>1-6</sub>アルキルであり；

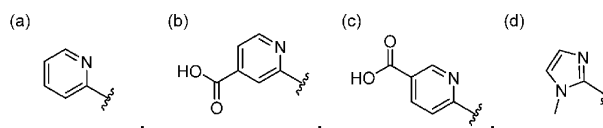
基Aが、非置換若しくは置換基群Bから選択される1から3個の基で置換されたフェニル、又は非置換5若しくは6員環ヘテロアリールであり；

置換基群Bは、ハロゲン原子、C<sub>1-6</sub>アルキル、ハロC<sub>1-6</sub>アルキル、C<sub>1-6</sub>アルコキシ、ハロC<sub>1-6</sub>アルコキシ、ヒドロキシ、シアノ、又はカルボキシである化合物；

又はその薬理学的に許容される塩。

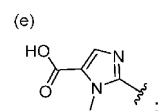
[請求項9] 環Zが、以下の(a)～(e)からなる群から選択される基である請求項8に記載の化合物：

[化6]



及び

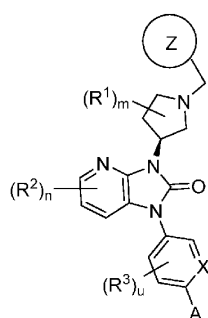
[化7]



又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項10] 請求項9に記載の化合物であって、以下の式で表される化合物：

[化8]



〔式中、

Xは、CR³、又はNであり；

uは、1又は2であり；

R¹は、請求項6と同じ意味であり；

R²は、請求項7と同じ意味であり；

R³は、水素原子、C<sub>1-6</sub>アルキル、又はヒドロキシであり；

基Aは、請求項8と同じ意味であり；

環Zは、請求項9と同じ意味であり；

m及びnは、請求項1と同じ意味である〕

又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項11] 請求項1に記載の化合物であって：

uが、2又は3であり；

1つのR³が、基Aであり；

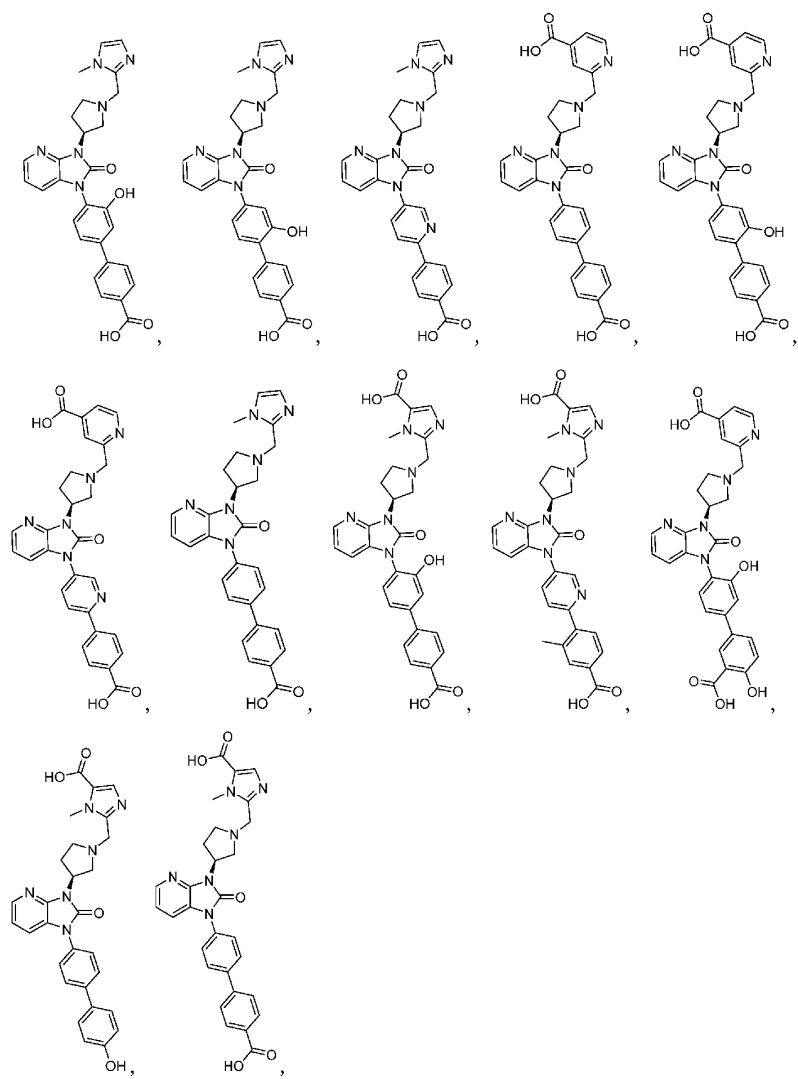
それ以外のR³が、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、C<sub>1-6</sub>アルキル、ハロC<sub>1-6</sub>アルキル、C<sub>1-6</sub>アルコキシ、ハロC<sub>1-6</sub>アルコキシ、C<sub>2-6</sub>アルケニル、C<sub>1-6</sub>アルキルスルファニル、C<sub>1-6</sub>アルキルスルホニル、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、-NR<sup>6</sup>R<sup>6'</sup>、-CO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、又は-CONR<sup>8</sup>R<sup>8'</sup>であり；

基A、R<sup>6</sup>、R<sup>6'</sup>、R<sup>7</sup>、R<sup>8</sup>、及びR<sup>8'</sup>が請求項1と同じ意味である化合物；

又はその薬理学的に許容される塩。

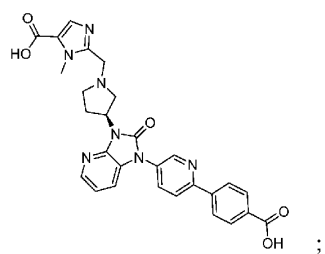
[請求項12] 以下の化合物からなる群から選択される化合物：

[化9]



及び

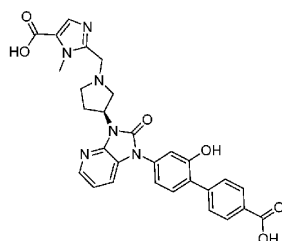
[化10]



又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項13] 以下の式で表される化合物：

[化11]



又はその薬理学的に許容される塩。

[請求項14] 請求項1～13の何れか一項に記載の化合物又はその薬理学的に許容される塩、及び医薬品添加物を含む医薬組成物。

[請求項15] 炎症性腸疾患の治療用医薬組成物である、請求項14に記載の医薬組成物。

[請求項16] 請求項15に記載の医薬組成物であって、炎症性腸疾患が潰瘍性大腸炎又はクローン病である医薬組成物。